

# 英語 (筆記) [高2生部門]

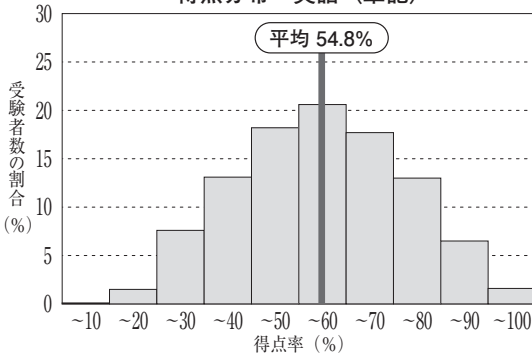
## 語彙・文法と構文力の早期完成に取り組もう。

### I. 全体講評

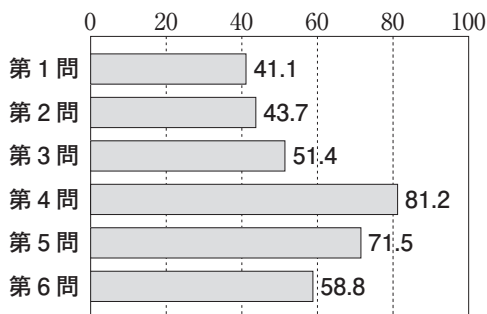
今回の全国統一高校生テスト (高2生部門) の英語 (筆記) の平均点は、109.6 点 (54.8%) であった。この模試は、**第1問** (発音・アクセント)、**第2問** (文法・語法・整序英作文) は基礎学力を測る問題、**第3問** (文脈・論理展開の把握)、**第4問** (図表・説明文書などの読み取り)、**第5問** (文学的文章の読解)、**第6問** (説明的な文章の読解) はセンター試験に近い形式の読解問題となっている。

今回の大問別の結果を見ると、**第1問~3問**は5割台以下となっている一方で、**第4~6問**はすべて5割台を超えており、特に**第4問**は81.2%と高い得点率を示した。最も得点率の低かったのは**第1問**の発音・アクセント問題であった。これは単語学習の際に、発音やアクセントを意識した学習が日頃か

得点分布 英語 (筆記)



大問別得点率 (%)



らできていない生徒が少なくないことの表れであろう。最も得点率の高かった**第4問**は、与えられている情報が図表と設問のみだったため、取り組みやすいと感じた生徒が多かったであろう。高2のみなさんが高3になり取り組むことになるセンター試験レベルの問題では、図表に加え100~400語程度の英文が伴うため、より高度な情報処理が必要となる。グラフや図表、広告などと英文がセットで扱われる問題は近年の大学入試で頻出となっているため、今回得点の低かった人は必ず復習をしておこう。**第5問**、**第6問**の長文読解問題は概ね得点率は高かったが、文章全体の理解を必要とする設問 (**第5問 B**、**第6問・問4~5**) は正答率が低かった。長文読解の際は、一文一文を正確に理解することも大切だが、各段落が示す概略を理解した上で、文章全体の論理展開を把握することが必要になることも認識しておこう。

今回の模試を通じて、当面の目標レベルと自分自身の現状の差を知り、まずは基本語彙と未習文法事項の早期習得を図りながら、長文読解の学習も計画的に進めよう。

### II. 学習アドバイス

#### ◆単語・熟語の学習

単語・熟語の習得は英語学習の基本である。単語・熟語は繰り返し学習することで確実に身につけてくるので、基本的な語彙の学習はできるだけ早期に終わらせよう。『英単語センター1800』や『英熟語センター750』などの単語集・熟語集をできるだけ早く一巡し、定期的に繰り返し確認を行うこと。なお、単語を覚えるときには必ず声に出して発音やアクセントも正しく習得することが大切である。リスニングの際に聞き逃したり、聞き違えたりすることがないように音源を聞きながら発声練習することもおすすめしたい。

#### ◆文法の学習

文法の未習事項が残っている人は、それをできる

だけ早く学習し終えることが最優先の課題となる。基本的な文法事項の学習を一通り終えて、早く全体像を俯瞰できるようにしよう。特に時制や、準動詞(不定詞、動名詞、分詞)、関係詞、仮定法など長文読解に不可欠な重要文法事項は完全定着するまで徹底学習を心掛けよう。

#### ◆構文の学習

文法学習を一通り終えた人は、長文読解の学習に入る前に文構造の学習を行うことをおすすめする。基本的な構文を扱う教材を使い、文法の復習をかねて基本構文をマスターしていこう。

#### ◆読解の学習

英文読解には様々なコツがあり、英文の種類や設問のタイプに応じた対策もいずれは必要になるが、そうした技術は基礎的な読解力があってこそのものである。高2生の時期は、しっかりとした英語の基礎学力をつけることに主眼を置いて学習してほしい。そのための最も効果的な学習方法は音読である。音読を繰り返すことで、英文の流れやリズムが身体にしみこみ、すべての土台となる英語力が養われていく。こうした学習を習慣化しよう。